

JSPS Information

- ◇日本惑星科学会第173回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第174回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会賛助会員名簿
- ◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

◇日本惑星科学会第173回運営委員会議事録

期間:2025年8月18日(月)～8月24日(日)

議題:JpGU-AGU 2026の惑星科学セッションの開催形態

運営委員会委員:

出席(21名)

今村 剛, 茅木 則行, 大竹 真紀子,
千秋 博紀, 諸田 智克, 三浦 均, 百瀬 宗武,
瀧川 晶, 保井 みなみ, 横田 勝一郎, 発生川 陽子, 生駒 大洋, 野村 英子,
藤谷 渉, 亀田 真吾, 佐々木 貴教, 野口里奈, 鎌田 俊一, 田中 秀和,
坂谷 尚哉, 黒川 宏之

欠席(2名)

黒澤 耕介, 田中 智

成立条件:期間内に議決返信のあった者を委員会出席とみなす.

議決方法:上記期間内にgoogle formから回答.

議題:

JpGU-AGU2026における惑星科学セッションに関して, AGUとの共催とするか否かの決定を会長の一任とすることについて, 承認を求める.

経緯:

2025年6月の第172回運営委員会で, JpGU-AGU2026における惑星科学セッションの開催形態は英語セッションと決定した.

一方、2024年11月時点では、JpGU側へ「現時点でAGUとの共催セッションを希望しない」と回答している。なお、共催セッションとは、AGUからコンビーナを出してもらい、JpGU・AGU双方所属の学会員がコンビーナを務めるセッションのことである。英語セッションと共にセッションは同義ではなく、変更が必要なのであれば早急にインプットが必要である。ただし、共催セッションにするか否かが本当に各セッション判断なのか、あるいは全セッションにAGU推薦のコンビーナを入れることになるのかは未確定である。このように共催セッションとするか否かについては未確定要素が多く、また判断材料にも乏しい。したがって、今後、この件についてJpGU事務局に情報を求めつつ、会長が副会長やコンビーナの皆さんと相談しながら判断することとしたい。

審議結果:

議案は原案のとおり承認された(可21・否0)

以上

◇日本惑星科学会第174回運営委員会議事録

日時:2025年9月3日(水)19:00 - 21:00

場所:東京大学駒場Iキャンパス 21KOMCEE East K114 + Teams Meeting(ハイブリッド)

運営委員:

出席者 20名

今村 剛, 茅木 則行, 大竹 真紀子,
千秋 博紀, 諸田 智克, 黒澤 耕介, 三浦 均, 百瀬 宗武,
瀧川 晶, 横田 勝一郎, 発生川 陽子, 野村 英子,
藤谷 渉, 田中 智, 佐々木 貴教, 野口里奈, 鎌田 俊一, 田中 秀和,
坂谷 尚哉, 黒川 宏之

欠席者3名(委任状:1通)

生駒 大洋, 亀田 真吾, 保井 みなみ

オブザーバー:

- 渡邊 総務専門委員(事務局担当)
- 平野 学会賞選考委員長

議題・報告事項:

- 2025年秋季講演会報告(成田 2025年秋季講演会組織委員長, 代理:黒川 秋季講演会組織委員)
参加者 316名, 講演数87+10+1+110件。口頭発表 87件(特別セッション10, 最優秀研究者賞受賞), ポスター 110件(微減した)。学会本体からの補助なし, 赤字なし(黒字10万円程度)の見込み。
- 2026年秋季講演会実施案(野口 2026年秋季講演会委員長, 新潟大LOC)
9/14-17に, 朱鷺メッセ国際会議室(400名入る)を押された。参加費は一般会員4,000円, 学生会員1,000円, 非

会員6,000円を想定しているが、申請中の新潟県開催費補助金が半額承認の場合は会費2000円値上げを予定。優秀発表者賞の審査や運営委員会は2日目にするなど選考委員会等と調整する。

3. 2027,2028年秋季講演会の開催地について(百瀬 行事部会長)

2027年度は神戸大学、2028年度は松江高専から承諾を得ている。可能であれば今後は4日間の開催を検討いただきたい。総会でも意見を募る。

4. 年会費の変更について(竝木 副会長)

学会の会計状況・事務局・サーバの移行を考慮し、遊星人電子化だけでは赤字を免れないで、2027年度からの会費の20%値上げを検討している。総会で値上げ案について説明する(2026年5月に具体的な値上げの案を提示し、秋学会で採否を取る)。

(渡邊)20%の値上げ幅では破綻する恐れがある。これから物価高も考慮して値上げ幅を再検討すべきでは。事務局経費の減額交渉は難しい。

(千秋)10年後を見据えて、積立することを目的に30%値上げするのが良いのでは。

(諸田)積立分の値上げについては、学生に値上げの責を負わせないことも検討するのが良いのでは。

遊星人の電子化が具体的にいつから可能なのか、編集専門委員会で検討を進めてもらう。

5. 事務局運営体制について(諸田 事務局体制検討部会長)

JpGU新システムの開発業者は9月中に決まる予定。新システムの本運用は2027年から予定している。

年内中に部会でJpGUと使用料の相談、新システムの機能の確認を行い、次期事務局体制の方針案を作成する。案をもとに運営委員会で次期事務局体制を決定し、来年5月の総会で報告することとなった。

6. 第18期下期一般会計・特別会計予算案(横田 財務専門委員長)

例年通り、支出は学会誌が約300万円、事務局関連の管理費が約490万円を占め、赤字見込みである(このままでは2027年度に口座残金が枯渇する)ので遊星人の電子化に加え会費値上げを検討している。

7. 自然災害に伴う会費免除措置等について(横田 財務専門委員長)

早めの申請をお願いしたい。

8. 遊星人の発行状況報告(三浦 編集専門委員長)

順調に発行している。

遊星人の電子化について

アンケート結果:約7割が完全電子化に賛成、電子化のコンセンサスが得られたと思っている。

アンケートを受けての電子化方針:「電子化+POD」で進める。

2026年の1月以降速やかに移行することを総会で提案する。

9. 入退会状況報告(藤谷 総務専門委員長)

一般正会員 524名、学生正会員 155名。学生会員は昨年より 20名程度増加。

10. 第64回総会の議長及び書記の推薦について(藤谷 総務専門委員長)

議長に豊川広晴会員、書記に清水雄太会員を推薦する。

上記は本運営委員会において承認された。

11.2025年度最優秀発表賞・優秀発表賞選考結果について(平野 学会賞選考委員長)

今年度は 18 名の応募があった。予稿に基づき、10 名を本審査対象とした。審査の結果、最優秀発表賞を所司歩夢会員と日向輝会員に、優秀賞発表賞を北出直也会員に授与することが提案された。

上記は本運営委員会において承認された。

12.その他

JpGU-AGUの惑星科学セッションについて(藤谷 総務専門委員長)

開催形態について、今後は会長に一任する。

セクションプログラム委員の選出方法について来年度以降どうしていくか相談する。

以上

◇贊助会員名簿

2025年12月25日までに、贊助会員として本学会にご協力下さった団体は以下の通りです。社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します。(五十音順)

- ・NV5 Geospatial 株式会社
- ・株式会社ノビテック

◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

(a) 場所、(b) 主催者、(c) ウェブページ/連絡先など。

転記ミス、原稿作成後に変更等があるかもしれません。各自でご確認ください。

* 2025/11

** 2025年11月25日(火)-11月28日(金)第69回宇宙科学技術連合講演会

(a) 札幌コンベンションセンター

(b) 日本航空宇宙学会

(c) <https://smartconf.jp/content/sstc69/>